

日本体育・スポーツ政策学会第28回学会大会 プログラム

大会テーマ

政策学とメディアの新たな融合への挑戦

主旨

これまでの研究者は、メディアを批判的に捉えてきた。批判的分析は政策学の研究を発展させる上で重要ではあるが、2019年ワールドカップラグビー、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年ワールドマスターズが開催される我が国において、スポーツがメディアに取り上げられる機会はますます増えることは間違いなく、批判的分析を通しポジティブにメディアと共に共生するスポーツ界の新たな道を切り開いてはどうか。

たとえば、ロンドン2012大会後のイギリスでは、テレビ局に取り上げられたことによりパラリンピックそのものの価値をポジティブなものに転換させたり、Sport Englandが女性のコミュニティスポーツ参加そのものに対する意識変化に影響を及ぼしたビデオが配信されている。こうした動向を鑑み、我が国でも、今こそ政策学の立場から今一度、メディアとの関わり方を問うべきではないか。

また本学会の発展を願い、若手研究者がより参加しやすい場を積極的に設定する。

1. 会期：平成30年12月8日（土）
2. 会場：桐蔭横浜大学中央棟
（住所）〒225-8503 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614
（電車でのアクセス）田園都市線青葉台駅より 桐蔭学園行バス 15分
（アクセスマップ）：<http://toin.ac.jp/univ/access/accessmap/>
3. 主催：日本体育・スポーツ政策学会
4. 共催：桐蔭横浜大学
5. 主管：日本体育・スポーツ政策学会第28回学会大会実行委員会
6. 後援：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター
7. 協賛：学校法人横浜YMCA、株式会社エコグリーンホールディングス、株式会社成文堂、株式会社トップカルチャー、株式会社ボディチューン・パートナーズ、株式会社ランドピア、公益財団法人笹川スポーツ財団、コトブキシーティング株式会社、道和書院
8. 日程：
 - 8:50 - 9:20 受付
 - 9:20 - 11:30 一般研究発表（302、303 講義室）
 - 11:40 - 12:40 昼休み、理事会（304 講義室）
若手研究者ランチセッション（306 講義室）
「若手研究者スタートアップ座談会
～#体育・スポーツ政策 の#問題意識 を掘り起こせ～」
 - コーディネーター
笹生 心太（東京女子体育大学体育学部講師）
 - パネリスト
森谷 航（桐蔭横浜大学大学院生）
藤岡 成美（公益財団法人笹川スポーツ財団研究員）
平塚 卓也（筑波大学大学院生）
 - 12:45 - 13:30 総会（302 講義室）
 - 13:40 - 14:40 ワークショップ1（307 講義室）

『地域スポーツジャーナル』がもたらす地域スポーツの発展と課題」

●コーディネーター

吉田 勝光（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部特任教授）

●パネリスト

鶴見 由加里（株式会社スポカラ代表取締役社長）

小池 剛（長野スポーツマガジン株式会社代表取締役社長）

ワークショップ2（302 講義室）

「アスリートパスウェイの構築に向けて」

●コーディネーター

日比野 幹生（日本体育大学スポーツマネジメント学部准教授）

●パネリスト

関 伸夫（スポーツ庁競技スポーツ課課長補佐）

中平 稔人（福岡県人づくり・県民生活部スポーツ振興課課長）

衣笠 泰介（独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター ハイパフォーマンス戦略部 開発課 主任専門職、国立スポーツ科学センタースポーツ研究部スポーツ研究課 前任研究員）

14:50 - 16:20 シンポジウム1（302 講義室）

「メディアから問うパラリンピックと障害者スポーツの価値」

●コーディネーター

田中 暢子（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授）

●シンポジスト

太田 慎也（WOWOW「WHO I AM」チーフプロデューサー）

松田 薫二（公益財団法人日本サッカー協会技術部 副部長兼グラスルーツ推進グループ グループ長、一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 専務理事兼事務総長）

16:30 - 18:00 シンポジウム2（302 講義室）

「横浜スポーツタウン構想」

●コーディネーター

間野 義之（早稲田大学スポーツ科学部教授）

●シンポジスト

岡村 信悟（横浜 DeNA ベイスターズ社長）

西山 雄二（横浜市市民局理事スポーツ統括室長）

18:00 閉会

18:10 - 20:00 情報交換会（306 講義室）

9. 参加費

- ・学会大会：一般会員 5,000 円、学生会員 1,000 円、会員外 5,000 円
- ・情報交換会：一般 4,000 円、学生 2,000 円

【お問い合わせ先】 E-mail sportseisakugakkai@gmail.com ※メールにて、お問い合わせください

会場案内

Campus Map



- ・当日は公共交通機関をご利用ください。
- ・会場周辺には、コンビニや昼食をとることができる飲食店はほとんどありませんので、昼食をご用意ください。



● 渋谷より

田園都市線『市が尾駅』下車（各駅停車 35 分）＋バス

田園都市線『青葉台駅』下車（急行 25 分）＋バス

● 新宿より

小田急線『柿生駅』下車（急行 35 分）＋バス

● 横浜より

JR 横浜線「長津田駅」（25 分）のりかえ田園都市線『青葉台駅』下車（急行 3 分、各駅停車 5 分）＋バス

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」（30 分）のりかえ田園都市線『市が尾駅』下車（各駅停車 5 分）＋バス

● 新横浜より

JR 横浜線「長津田駅」（15 分）のりかえ田園都市線『青葉台駅』下車（急行 3 分、各駅停車 5 分）＋バス

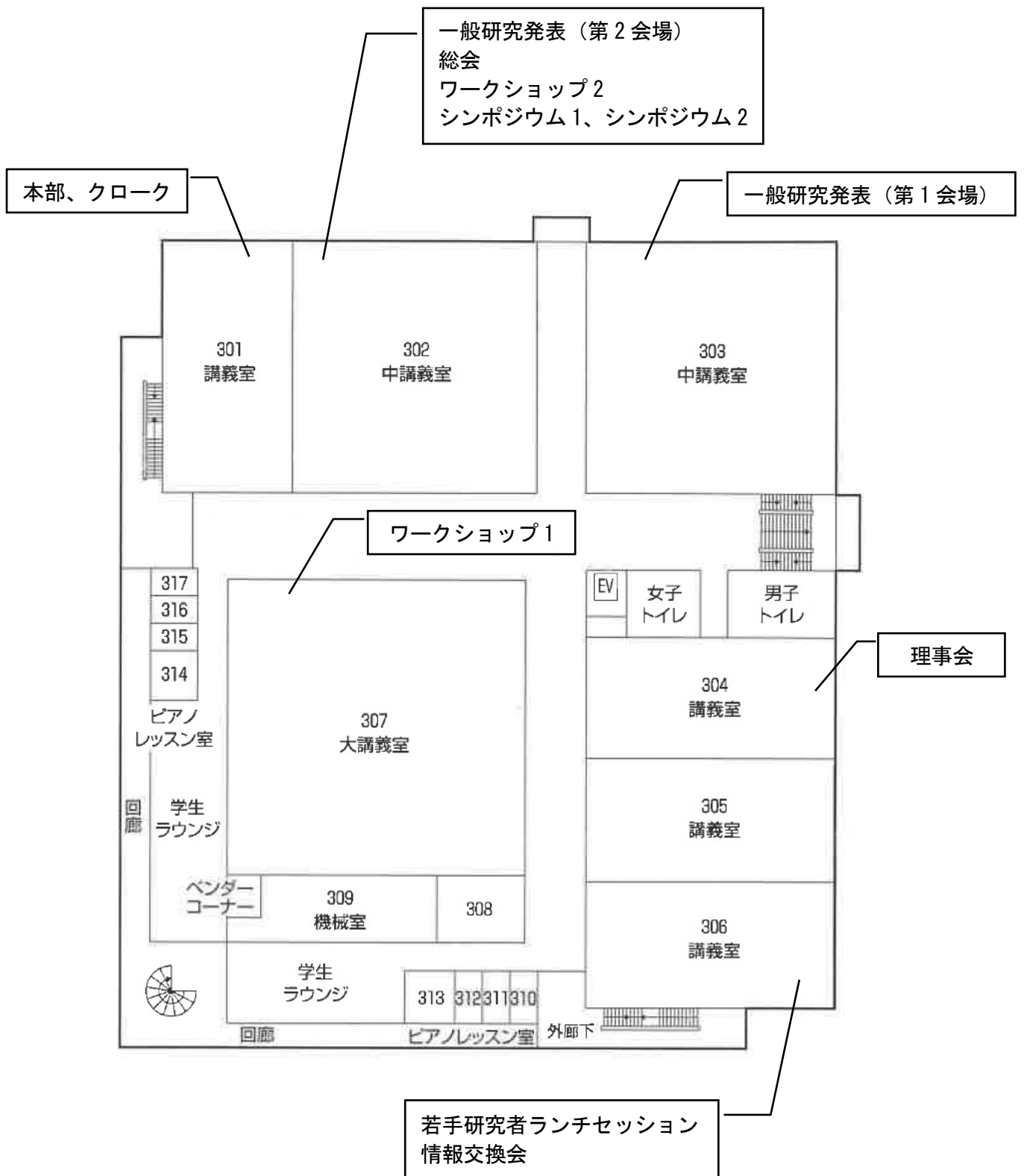
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」（20 分）のりかえ田園都市線『市が尾駅』下車（各駅停車 5 分）＋バス

● 八王子より

JR 横浜線「町田駅」（25 分）のりかえ小田急線『柿生駅』下車（各駅停車 10 分）＋バス

JR 横浜線「長津田駅」（30 分）のりかえ田園都市線『青葉台駅』下車（急行 3 分、各駅停車 5 分）＋バス

桐蔭横浜大学中央棟フロア案内 (3F)



一般研究発表の演者の皆さまへ

- (1) 1 題あたりの割当時間は 20 分（発表 15 分＋質疑応答・交代時間）とし、13 分で 1 鈴、15 分で 2 鈴、19 分で 3 鈴を鳴らしますので時間を厳守してください。今大会はスケジュールが非常にタイトになっておりますので時間通りの進行にご協力ください。なお、質疑応答時間をより長く確保したい場合は、発表時間を短縮することで調整を図ってください。
- (2) 当日資料を配布する場合は、発表するセッション開始時刻の 20 分以上前に発表会場入口付近の指定された机の上に「70 部」を目安に配布資料を置いて下さい。
- (3) パワーポイント及びプロジェクターを使用して発表する場合は、大会事務局で用意したパソコン（Windows 10・Power Point2016 搭載端末の予定）とプロジェクターをご利用ください。各発表会場のセッションごとに 1 台のパソコンを使用します。
演者の皆様は、当日 8:50 までに各発表会場セッティング済みのパソコンに USB からデータ保存し、動作確認をしてください。
- (4) レーザーポインタをご使用になられる場合は、各自でご準備下さい。
- (5) 発表時のパワーポイントの操作は、演者自身で行ってください。ただし、トラブルが生じた時などは大会事務局員他が可能な限りサポートします。

※一般研究発表に関することをご不明な点がございましたら、日本体育・スポーツ政策学会第 28 回学会大会実行委員会までご連絡ください。

一般研究発表プログラム

9:20 - 10:20 一般研究発表：セッションI ※各20分（発表15分+質疑応答）

＜第1会場（303講義室）＞ 座長：日比野幹生（日本体育大学）

1-1 (9:20-9:40)

○平塚 卓也（筑波大学大学院）

1949年の文部省設置法案の国会審議過程における体育局に関する議論の分析

1-2 (9:40-10:00)

○船先 康平（筑波大学大学院システム情報工学研究科）

競技別 SPLISS 概念モデルの開発

1-3 (10:00-10:20)

○内藤 正和（愛知学院大学）

スポーツ施設整備における国の関与に関する研究—政策融合を視点として—

＜第2会場（302講義室）＞ 座長：田中暢子（桐蔭横浜大学）

2-1 (9:20-9:40)

○遠藤 華英（早稲田大学スポーツ科学研究科）

途上国における準地域国際大会開催によるレガシー構想

2-2 (9:40-10:00)

○渡 正（順天堂大学）

障害者アスリートの雇用における企業の論理とその課題

2-3 (10:00-10:20)

○松畑 尚子（龍谷大学）・日下 知明（筑波大学）・平塚 卓也（筑波大学大学院）・齋藤 健司（筑波大学）

障害者のスポーツ実施率と評価指標に関する研究

—T市における障がい者のスポーツ活動調査の結果及び分析を中心として—

10:20 - 10:30 休憩・座長交代

10:30 - 11:30 一般研究発表：セッションII ※各20分（発表15分+質疑応答）

＜第1会場（303講義室）＞ 座長：出雲輝彦（東京成徳大学）

1-4 (10:30-10:50)

○日下 知明（筑波大学）

地方自治体とJリーグクラブの官民パートナーシップの特質に関する一考察

1-5 (10:50-11:10)

○米村 真悟（同志社大学大学院総合政策科学）・横山 勝彦（同志社大学）

SROIによるスポーツ政策の評価システム考察—地域スポーツを事例に—

1-6(11:10-11:30)

○蓬田 高正（天理大学体育学部）

スキー場における指定管理者制度の導入状況

＜第2会場（302講義室）＞ 座長：金子史弥（筑波大学）

2-3 (10:30-10:50)

○小林 塁（同志社大学大学院総合政策科学研究科）・横山 勝彦（同志社大学）

我が国におけるスポーツ放送の 이슈・ネットワーク形成—アクター分析の視点から—

2-4 (10:50-11:10)

○石黒 えみ（亜細亜大学経営学部）

育児期女性のスポーツ実施／非実施に関連する要因の量的研究

2-5 (11:10-11:30)

○尾原 弘恭（関西医療大学）・横山 勝彦（同志社大学）

学校における運動部活動の在り方に関する一考察